



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 39

2021.6.2(No.3084)

ロータリーで良いことをしよう

第2560地区ガバナー／佐藤 真  
 会 長／野崎喜一郎  
 会長エレクト／歸山 肇 (クラブ奉仕A)  
 副 会 長／松永一義  
 幹 事／渡辺良一  
 S A A／五十嵐博宣  
 会 計／柳取崇之  
 直 前 会 長／若槻八十彦

例会日／毎週水曜日12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095  
 E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

■本日の出席会員数:59名中44名  
 ■先々週出席率:84.48%

【ヴァイジター】

・米山記念奨学生 李 恒 さん

【先週のメイクアップ】

[5.27] 三条ローターアクトクラブへ

・相場弘介さん、船越良則さん

[5.29] トリムの森草刈りへ

・明田川賢一さん、安達俊明さん、  
 ・五十嵐博宣さん、小越憲泰さん、  
 ・落合孝夫さん、歸山 肇さん、  
 ・小出子恵出さん、小林吾郎さん、  
 ・斎藤弘文さん、杉山幸英さん、  
 ・滝沢 亮さん、中條克俊さん、  
 ・中村信一さん、梨本次郎さん、  
 ・西山徳芳さん、野崎喜一郎さん、  
 ・長谷川正実さん、早川滝徳さん、  
 ・船越良則さん、松永一義さん、  
 ・松永隆夫さん、丸山行彦さん、  
 ・柳取崇之さん、山田富義さん、  
 ・若槻八十彦さん、渡辺良一さん  
 (26名)

[6.1] 三条北RCへ

・松永一義さん



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021 年度国際ロータリーのテーマ



## 会長挨拶 「島根県」



### 野崎喜一郎 会長

1982年島根国体が隠岐の島で開催されました。隠岐の島に行くことは一生のうちこれが最初で最後だろうと思い予選を勝ち上がりました。隠岐の島の知識は日本史の授業で、鎌倉時代に後鳥羽上皇や後醍醐天皇が権力闘争に負けてこの島に流されたことしか知りません。

今回も自家用車を運転して行きました。米子の少し北にある七類の港から朝8時頃のフェリーに乗って隠岐の島の島後に渡りました。1日1便しかなく、此処につくまでに丸1日かかりました。

この頃から開会式の入場行進が少しずつ変わってきました。今までは正面スタンド前に来ると「かしらー右」という旗手の号令で皇太子殿下に顔を向けていたのが、帽子を振ったり、ハンカチを振ったりと軟らかい雰囲気になってきました。絶叫型の選手宣誓も「誓いの言葉」に変わり大変優しい雰囲気になりました。

開会式後、隠岐の島名物の闘牛が開催されるので見学に行きました。青森県でもねぶた祭りを開催しましたがこれ以降

は行ってないかと思えます。国体の為に特別に開催されました。この闘牛で角がわき腹に刺さりどす黒い血が流れ出たのを覚えています。地元の人に聞いたら、この牛は殺処分されるだろうと言われました。傷口から雑菌が入って助からないそうです。国体の為に可哀想なことをしました。その日の夜台風並みの風が吹き、翌日午前の第1レースに出艇したヨットはレース途中から風が弱くなり、さらに6~8mのうねりが出てきて隣のヨットが見えないほどの悪コンディションとなりました。ヨットのマストが6.5mほどの長さです。それが全く見えないうねりでした。私は午後のレース予定でしたので、観覧船に乗って見学していたのです。午前のレースは終了したのですがレース艇、運営船、観覧船など全てが出港した港に帰れなくて別の大きな港に帰りました。二日目以降、この港から出航することになりその後、引越し作業が始まりました。大混乱の大会でした。

帰りの夕飯に国道9号線にある食堂によりました。店主が新潟県の選手と知り、角さんのところかと聞いてきました。そうですと答えると「道路は良いのだろう？」と聞いてきました。広くて舗装してありますと答えました。ちなみに国道9号線は狭くて簡易舗装くらいでした。

## 幹事報告



渡辺良一 幹事

- ◎国際ロータリー日本事務局より  
「6月ロータリーレートのご案内」  
6月1日より 1ドル=109円
- ◎佐藤ガバナー事務所より  
「ガバナー月信 6月号発行のお知らせ」
- ◎高尾ガバナーエレクト事務所より  
「2021-22年度 地区研修・協議会の御礼」

## ニコニコBOX

野崎喜一郎会長

社会奉仕事業が三條新聞の記事になりました。  
一つ終ってホッとしています。

渡辺良一さん

野崎年度最後の理事役員会が終わりました。  
皆様、一年間ご協力ありがとうございました。

梨本次郎さん

先日の草刈りで、小出さんから野花の名前を教えてくださいました。とてもうれしそうに教えてくれたので、こちらまで嬉しい気分になりました。

衛藤泰男さん

我家の周辺では、人目を逃れた竹の子達がスクスク成長し、高圧電線の高さ迄迫っています。ここ迄伸びれば人間様に採って食べられる事はもうありません。

神子島正樹さん

最近、早朝ランニングを再開し、体調がすごく良いです。

関さん、卓話楽しみにしています。

荻根澤隆雄さん

関会員、頑張ってください。

小林卓哉さん

よろしくお祈りします。

若槻八十彦さん

昨日、第1回目のワクチン接種を受けました。少し筋肉痛が残っています。

松永一義さん、 山田富義さん、 渡辺勝利さん、  
石倉政雄さん、 柳取崇之さん、 丸山行彦さん、  
中條克俊さん、 小林吾郎さん、 松永隆夫さん、  
中村信一さん、 小出子恵出さん、 船越良則さん、  
五十嵐晋三さん、 早川滝徳さん、 石黒良行さん、  
野水靖之さん、 明田川賢一さん、 高橋 司さん、  
安達俊明さん、 五十嵐博宣さん、 斎藤弘文さん、  
杉山幸英さん、 長谷川正実さん、 歸山 肇さん、  
小越憲泰さん、 吉井直樹さん、 落合孝夫さん

関会員、本日は卓話ありがとうございました。  
お話楽しみにしております。

6月2日分 ¥ 35,000  
今年度累計 ¥ 1,278,000



米山記念奨学生 李さんへ奨学金の授与

## 「卓 話」

### 関 義実 会員



#### Chapter1

##### おじさんがくれた「もの」

##### — 帝王学 —

三条市に生まれ、両親は魚を扱う海鮮屋という2・7、5・10市日に出る家業の元に産まれた。

家の中は両親と叔母が家業も会社もすべてが一緒だったのもあり喧嘩が絶えない毎日忙しい日々だった。

親戚に「株式会社フタバ」を経営する叔父さんが居て、その家族喧嘩を見ては、自分に組織企業作って家族、社員を支えなさい！とよく言われていた。

当時の自分は小学校3年、ある日その叔父さんが「帝王学」という本を置いて行きました。来ては読んだかとせがまれる為、いやいや読み進めてみた。本を読み一点だけ確かに分かった事は、優れたリーダーや優れた組織を率いる人とは「自分より優れた人間が周りに居てくれる人間」だと気付いた。それ以降、勉強する事よりも人に好かれる人間。いわゆる「人気者」になる事に専念してしまった。

#### Chapter2 最終学歴「中卒」 — 加島屋 —

小学生の時から会社をつくると決めていた私は、高校に行くという選択肢は全くなかった。ですが母親に高校のテストは受けてくれと言われて3校受けましたが、自分は受かる気が全くなかったので受かることはなく高校に行く事はありませんでした。

16歳になりすぐに就職すると決め、小学校からの夢であった組織を作る夢に向かい、おじさんの紹介で「株式会社加島屋」の運営するお料理屋さんの昔で言うところの「丁稚奉公」として預かって頂くことになった。その時おじさんに3年間は最低働き、逃げてくるなど言われた。

親の与えてくれた「ぬるま湯」に浸かった私は、働くことは大変だなと実感したが、おじさんの紹介だったので、やめたり、さぼったりと言う選択は無かった。1日14時間労働、月給8万と勉強になった反面、過酷だったとは記憶しています。その働いたご褒美で週1回ラーメンを食べるのが格別にうまかったです！

お世話になった加島屋さんを4年間勤めそのあと実家に戻ってきて家業に入ることになった。

#### Chapter3 関家の「家業」 — 海鮮屋 —

パルムの立体駐車場の前に「海鮮屋」という魚屋で総菜を作ったり、市日の仕事も深夜3時から雨が降る中でも、雪が降る中、どんなに暑い中でも仕事

をしていた。改めて家業の大変さを肌で感じご飯を食べさせてくれた両親に感謝することができた。



## 海鮮屋



#### Chapter4 父への「反抗」 — 本寺小路 —

父親はなかなかの頑固者で決めたことは何があっても曲げないタイプです。自分は組織を作りたいという気持ちで「家業生業」としている父親とはよくぶつかり、喧嘩することが多かった。二言目には「嫌なら外に出て1人でご飯を食べてみろと！」とよく言われていました。人一倍負けず嫌いだったので、お金はなかったが「やってやる」と覚悟を決め、25歳の時に知人から30万で14席の小さなBARを買って、オープンしたのが初めての経営となる。その時あまりなかった飲み放題のガールズBARを試したら、当たるに当たり！一気に店舗展開をしていった。

そんなお金に走り、有頂天になっていた自分は、仲間から見放され、先輩には反抗的な態度をとり、次々に自分の周りからは人達が消えて行きました。30歳の時に当初ナンバー2だった人間に、お金を誤魔化され自暴自棄になり人間不信になったときに出会った団体が「燕三条青年会議所」だった。

#### Chapter5 ある団体との「出会」 — JCI —

先輩達の「まちづくり、ひとづくり」をするんだと、利他の精神で寝る暇を惜しんで頑張る姿を見て、自己の利益だけに集中していた私は衝撃を受けました。入会して「100 km 徒歩の旅」事業に参加をし感銘を受けた。

そのなかで先輩から言われたのが、JC活動すると同時に「事業を伸ばしなさい」と言われました。在籍中にまちづくりも勿論だが、事業も必ず伸ばそう！と目標を定めました。その中で仕事や組織づくりで何が大切なのか、会社の存在意義を教えてくれたのは、この青年会議所だった事は間違いない。

2017年度の周年理事長に抜擢されて、20周年式典での理事長挨拶が、今までの人生の中で一番緊張したときだった。「燕三条ナンバーの導入・燕三条市の実現」などで良くも悪くも多くの注目を浴び1年間で事業記事を新聞に22回取り上げられた。こんなに多くの事業を取り上げられたのは、委員会メンバーがやりきってくれからと、本当に感謝をしている。

JCでの一番の収穫は言うまでもなく、メンバーとの出会い、メンバーと一緒にやった事業、その全てが今の自分をつくっていると確信している。しっかりと恩を返していきたい。



## Chapter6 親からの「買物」 —新会社設立—

35歳の時に両親から大きな買い物をした。今まで両親に頭を下げることはなかったが、居酒屋のスタッフ達ともっと大きな会社にしていきたいと思い、社長である父親に頭を下げて飲食部門の3店舗を買うことを決意した。そこで(株)GreatCompanyを設立した。25歳の時に失敗した経験を活かし、スタッフにとってすごい組織、地域にとってすごい組織を作っていくかと思ひこの会社名にきめた。

この8年の中で20ブランドをたちあげた。今はコロナの状況もあり店舗数は減ってしまいましたが今まで関わってくださった方、仲間たちがいるからこそここまで事業することができた。自分の為に何かをするのというよりも、誰かの為に何かをしたいという馬力こそがJCから教えてもらったイズムでもある。

### — GreatcompanyGroup —



## Chapter7 決断と「行動」 —新たな分野への挑戦—

このコロナの状況のなか飲食業というものがかなり傷んでいる。ただ傷んでいることに嘆いていても前には進めない。そんな時こそ変化、決断、行動していく事で明るい未来が待っている。そこで今後の事業展開としては、雪室を利用したパン事業や小麦粉や米、地場野菜を使用した小売や製造事業を燕三条ですること、地域の街おこし事業になると確信しています。

有難いご縁のお話も頂いているので、しっかりと形にしていきたい。自身も街づくりに貢献していきたいと思ひ燕三条ビジネスクラブを立ち上げた。

三条エコノミークラブや商工会議所青年部など色々な若手の素晴らしいリーダー達と会う機会がありましたが、同じ会に入っていないと垣根があるので、そんな垣根を越えて何か1つのことをやってみたい。またその中で地域の子供達を「商んど」と育成したり、メンバーのビジネススキル向上を目的としている。

自身ここまで来るのにたくさんの「ご縁」をつないで頂いて、今ここにこうして立たせて頂いていることに感謝を申し上げたい。そして私たち三条ロータリークラブという団体は周りから見るとすごい人たちがいる、先輩たちがいるよねとよく言われ、他の団体と比べられることがある。自分自身もこの人がいるから入りたいな、と思ってもらえる事業家であることが必要である。しっかりと自社業を伸ばしながら三条ロータリークラブに貢献していきたい。

商売人の家庭に産まれてきたので「生涯商んど」でいたいと思っている。ですが昨今AIなどのコンピューターが発達してきたので、色々な職業がなくなると言われているが、どんなに時代が変わろうとも「商んど」は最後まで残ると信じている。

# トリムの森草刈り

<社会奉仕委員会より>

去る5月29日(土)午前7時からトリムの森に於いて草刈り活動を行いました。  
早朝からの開催にもかかわらず、26名の方々よりご参加いただき、無事終了することができました。  
皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

(出席者は週報メイクアップの欄に掲載しております。)





次週例会 6月16日

「一年を振り返って」  
野崎喜一郎 会長・渡辺良一 幹事

次々週例会 6月23日

夜例会「会長幹事慰労会」  
18:30～ 於 二洲楼

